

授業科目名 <英訳>	ドイツ語学ドイツ文学(特殊講義) German Language and Literature (Special Lectures)	担当者氏名	人文科学研究所 教授 岡田 暁生						
配当学年	3回生以上	単位数	2	開講期	後期	曜時限	火3	授業形態	特殊講義
題目	20世紀音楽とは何だったのか(2)								
【授業の概要・目的】									
20世紀は西洋で生まれた芸術音楽が、19世紀ヨーロッパの帝国主義的な世界へゲモニーを失い始めると同時に、世界に拡散してあまたのクレオール的な音楽文化(ジャズやタンゴなど)を生み出していく時代である。この講義では20世紀の西洋音楽史を、現代的状況が現出する第一次大戦後の1920年代より、第二次大戦をはさんで、ポストモダンの到来する1970年前後まで、前衛音楽の系譜 クレオール音楽の系譜 音楽における東西冷戦状況 の三点に焦点を当てて考察する。									
【授業計画と内容】									
<p>予定しているのは以下のテーマであり、それぞれに3回程度の授業を充てる予定である。</p> <p>1 - 3回：ダルムシュタット楽派 4 - 6回：社会主義リアリズム 7 - 9回：社会現象としてのジャズ・エイジ 10 - 12回：偶然音楽の衝撃 13 - 15回：ミニマリズムとフュージョンの登場</p>									
【履修要件】									
特になし									
【成績評価の方法・基準】									
レポートのみによる									
【教科書】									
使用しない 毎回レジメを配る予定									
【参考書等】									
(参考書) 岡田暁生『西洋音楽史』(中公新書) ホブズボーム『極端な時代』(三省堂) アレックス・ロス『20世紀を語る音楽 上下』(みすず書房) そのほかにアドルノの『音楽社会学序説』及び『啓蒙の弁証法』及び『新音楽の哲学』には頻繁に言及する予定なので、ぜひとも一読されたい。									
【その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等)】									
オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。									